

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.161

2016年12月16日
日本共産党
新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748

12月議会

平議員―職員の長時間労働の是正を求める 倉茂議員―BRT専用走行路の社会実験を問う

平あや子議員は9日の市議会で、市職員の長時間労働の是正、「残業代ゼロ」法案の撤回、鳥インフルエンザの市の対策について一般質問しました。

年間1800時間こえる残業も…

平議員は、新潟市で2015年度に月100時間以上の残業をした職員が453人に及び、もつとも多く残業した職員は年間1803時間、1か月あたりに換算すると過労死ラインの80時間をはるかに超える150時間もの過酷きわまらない仕事をしていたことになると指摘しました。

労働基準法第33条3項では、公務員に時間外勤務をさせることができるのは「臨時の必



平あや子議員

要がある場合」に限られていません。平議員は「労働大臣告示」で示された労使間の残業時間協定の「限度基準」である1か月45時間を超える残業をした職員数が過去3年間3000人を大きく超えており、残業が常態化している事実を示し、「これでは『臨時の必要がある場合』とは言えないのではないか」として、早急な改善を求めました。

「残業代ゼロ」法案の撤回を

平議員は、「残業代ゼロ」制度がいったん導入されれば、年収や職務要件は際限なく引き下げられると指摘し、篠田市長に対し、「残業代ゼロ」法案は長時間労働や過労死を加速させる内容であるとの認識はあるか、長時間労働をなくすためには同法案の撤回を国に求めるべきではないかと見解をただしました。

市長は「国会での慎重な議論が必要」との答弁にとどまりました。



倉茂政樹議員

倉茂政樹議員は12日、区の方と住民自治、臨時・非常勤職員の待遇改善、BRT専用走行路の社会実験について一般質問をおこないました。

戸惑い・不安が残った社会実験

BRT専用走行路の社会実験は、新潟駅前の東大通り（明石通り―流作場五差路間）に、仮設の横断歩道、信号機、島式ホームを設置して、11月5日から13日まで実施されました。

倉茂議員は、社会実験が行われた駅前通りは、島式ホームの設置が予定されている他の3カ所（万代、本町、古町）より乗降客が少なく、本町、古町）より乗降客が少ないうえに、ここだけ片側4車線、片側3車線の他の場所と比べると最も条件のいいところであり、誘導員・警察官など多くのスタッフが常時対応する中で行われたことにより事故はなかった

ものの、平日朝の時間帯では渋滞が発生し、また進路変更時にバスと一般車が接触しそうになるなどの場面も多く見られたと指摘。地元紙も「実験では利用者、ドライバーともに専用走行路導入のメリットを感じにくく、戸惑いや不満だけが残る結果となった」と報じました。

「速達性」は実証されたのか

倉茂議員は、今回の社会実験で、①どんなメリット、デメリットが明らかになったと検証しているのか、②万代・本町・古町への専用走行路設置に対する評価は出せるのか、③専用走行路の設置目的である「速達性」の向上は見込めるものとなったのか―とただしました。

市は、「今後、しっかりと検証していく」などとし、今回の社会実験の目的には速達性の検証は入っていないかったかのような答弁を行いました。

臨時教員の処遇改善

「検討する」と市教委

倉茂議員は一般質問と文教経済常任委員会、県からの権限移譲にともなう臨時教員の処遇改善についてただしました。退職手当の支給がなくなることや「私傷病」の休暇日数が少なくなる問題について改善を求め、市教委は「重く受けとめ、検討する」と回答しました。